

アビリティの花、 咲いています

令和4年5月
アビリティ共生デイ
Vol. 33

～機能訓練の現場から～

アビデイでは特殊浴槽での特浴、一般的な浴槽の一般浴の2種類があります。機能訓練の後、特浴から一般浴への移行が可能となった例、シャワー浴から浴槽につかる事が可能となった例を紹介します。



特浴の対象者となる方は、
重度の麻痺や拘縮、筋力低下
の為に、

- ①座位がとれない
- ②浴槽をまたぐ事ができない
- ③家族の希望

等があります。



入浴につながる訓練を実施し、
昨年度より、**特浴から一般浴に
変更できた方は6名**おられます。

担当ケアマネジャーやご家族と
相談して変更。入浴時の負担軽減や
満足度向上につながりました。



Kさん 46歳 女性

若年性特発性関節炎で上下肢の拘縮・疼痛・立位困難。関節可動域upと筋力upに伴い、特浴から一般浴での入浴が可能となる。



↓上肢の力で体を持ち上げて浴槽を出る(軽介助)

↑お尻をずらして浴槽に入る



Hさん 46歳 男性

脳出血後の右片麻痺 短下肢装具着。入浴時は装具を外し、足関節の内反を防ぐ為、介助者が足で抑えながら移動する。

高次機能障害もあり、声かけをして足の位置を確認し、シャワー浴から浴槽の出入りができるように。

訓練の成果もあり、

ご自宅での入浴も可能となりました！

